

2015年度輔仁大学日本語文学科国際シンポジウム

×

「東アジアと同時代日本語文学フォーラム」台湾大会「文化翻訳／翻訳文化」
(2015年度輔仁大学日本語文学系国際学術研討會暨「東亞與同時代日語文学論壇」台灣大會「文化翻譯／翻譯文化」)

プログラム

日時：2015年11月14日（土）9:00－18:00

2015年度輔仁大学日本語文学科国際シンポジウム×「東アジアと同時代日本語文学フォーラム」

2015年11月15日（日）9:00－12:10

次世代フォーラム(大学院生研究発表会)

会場：輔仁大学済時楼9階

【一日目】

8:30－9:00	受付
9:00－9:30	開会式（総合会場） 聶達安使命副学長 鄭炳浩教授
9:30－12:00	招待発表／一般発表（第一、二、三会場）
12:00－13:00	昼食
13:00－15:00	招待発表／一般発表（第一、二、三会場）
15:00－15:20	休憩
15:20－17:20	招待発表／一般発表（第一、二、三会場）
17:20－18:00	総合座談会（総合会場） 「文化／翻訳」

【二日目】

9:00－12:00	論文発表（第一、第二会場）
12:00－12:10	閉会式（総合会場） 黄瓊慧学科長

【一日目】「東アジアと同時代日本語文学フォーラム」台湾大会「文化翻訳／翻訳文化」

	9:00 — 9:30	開会式（総合会場） ご挨拶：聶達安（輔仁大学使命副学長） 鄭炳浩（高麗大学教授・「東アジアと同時代日本語文学フォーラム」発起人）		
		第一会場 （招待発表）	第二会場 （招待発表／一般発表）	第三会場 （一般発表）
第一 セク シ ョ ン	9:30 — 10:30	司会：黄翠娥（輔仁大学） 招待発表1 中根隆行（愛媛大学・教授）：朝鮮俳句の戦前戦後——俳句の文芸性と文化翻訳 招待発表2 金孝順（高麗大学・准教授）：細井肇篇《通俗朝鮮文庫》と造られる朝鮮的価値—「洪吉童伝」の人物造形と琉球征伐エピソードを中心に—		司会：中村祥子（輔仁大学） 一般発表9 横路啓子（輔仁大学・准教授）：李登輝の翻訳ストラテジー—司馬遼太郎『台湾紀行』を例に— 一般発表10 金想容（輔仁大学・助理教授）：日本統治時代の「日本味」——台湾における「味噌」の渡来と受容状況をめぐって
第二 セク シ ョ ン	10:30 — 12:00	司会：陳明姿（台湾大学） 招待発表3 李志炯（淑明女子大学・教授）：近代東アジアにおけるハンセン病と優生学の移動-韓日の優生政策と文学からの文化翻訳的考察- 招待発表4 陳宏淑（台北市立大学・助理教授）：ヴェルヌから包天笑まで——『鉄世界』の重訳史—— 招待発表5 劉春英（東北師範大学・准教授）：中国における日本女性文学の百年受容史について	司会：呉佩珍（政治大学） 招待発表14 河野龍也（実践女子大学・准教授）：言語体験としての旅—佐藤春夫の「台湾もの」における「越境」— 招待発表15 黄翠娥（輔仁大学・教授）：旅行者徳富蘇峰がまなざした中国、台湾	司会：楊錦昌（輔仁大学） 一般発表11 鄭家瑜（政治大学・准教授）：『日本書紀』に見る漢籍の影響と表現—持統天皇の形象を中心に— 一般発表12 岡部明日香（岐阜女子大学・准教授）：白居易『琵琶行』と新体詩『琵琶行』 一般発表13 齋藤正志（中国文化大学・准教授）：古典文学における〈文化の越境〉—竹取物語の解釈変容—
	12:00 — 13:00	昼食		
第三 セク シ ョ ン	13:00 — 14:00	司会：曾秋桂（淡江大学） 招待発表6 徐東周（梨花女子大学・准教授）：植民地青年の「移動」と「近代文学」の再翻訳 招待発表7 和泉司（豊橋技術科学大学・講師）：邱永漢「西遊記」を読む—日本における「西遊記」翻訳と邱永漢訳版の意味	司会：何思慎（輔仁大学） 一般発表1 工藤貴正（愛知県立大学・教授）：北京から台湾にやって来た大正生命主義—『台湾民報』における張我軍の時差翻訳を視座として 一般発表2 嚴仁卿（高麗大学・准教授）：在朝鮮日本人による朝鮮民謡の翻訳と文化表象	
第四 セク シ ョ ン	14:00 — 15:00	司会：鄭炳浩（高麗大学） 招待発表8 大東和重（関西学院大学・教授）：平地先住民の失われた声を求めて—日本統治下の台南における葉石濤の考古学・民族学・文学— 招待発表9 富田哲（淡江大学・准教授）：元台湾語通訳者市成乙重とアジア・太平洋戦争期の「福建語」	司会：横路明夫（輔仁大学） 一般発表3 俞在真（高麗大学・准教授）：翻訳装置としての広告—植民地朝鮮における「内地」書籍広告文— 一般発表4 日比嘉高（名古屋大学・准教授）：1945年以前の台湾における日本語書籍雑誌の流通——書店、組合、新聞社	司会：黄旭暉（育達科技大学） 一般発表14 金普慶（高麗大学・研究教授）：アメリカ占領下の映画と翻訳—「雪夫人絵図」の映画化をめぐって— 一般発表15 中村祥子（輔仁大学・准教授）：記念映画として製作される『源氏物語』をめぐって—映画は文学の何を翻訳するのか

	15:00 - 15:20	ティータイム		
第五セッション	15:20 - 16:20	司会：林雪星(東吳大学) 招待発表10 李漢正(祥明大学・准教授)：韓国における三浦綾子の『氷点』 招待発表11 単援朝(崇城大学・教授)：大内隆雄の翻訳活動について—「満人作家」の理解者、代弁者として—	司会：坂元さおり(輔仁大学) 一般発表5 石田仁志(東洋大学・教授)：文化翻訳のアポリア——周金波「志願兵」ほか 一般発表6 佐藤敬子(元横浜市立大学・兼任講師)：永井荷風『ふらんす物語』論—文化翻訳の解釈試論—	司会：齋藤正志(中国文化大学) 一般発表16 沈美雪(中国文化大学・准教授)：台湾における日本サブカルチャーの翻訳・伝播・表象—文化は翻訳され、そして広がる— 一般発表17 李先胤(高麗大学・教授)：マンガ、アニメ、文化の翻訳—手塚治虫テキストにおける〈越境〉
第六セッション	16:20 - 17:20	司会：范淑文(台湾大学) 招待発表12 王志松(北京師範大学・教授)：「物語」のための冒険—村上春樹に於けるチャンドラーの受容 招待発表13 張桂娥(東吳大学・助理教授)：翻訳児童文学にみる文化翻訳の創造性と多様性—言葉遊び絵本『なぞなぞのたび』の中国語訳を手がかりに—	司会：邱若山(静宜大学) 一般発表7 徳永光展(福岡工業大学・教授)：夏目漱石『心』英訳における話法の処理—Meredith McKinneyによる翻訳を資料として— 一般発表8 王佑心(銘伝大学・准教授)：安部公房「バベルの塔の狸」における目玉の重層性—「翻訳不可能」の翻訳のために—	司会：彭春陽(淡江大学) 一般発表18 横路明夫(輔仁大学・准教授)：クローンの意味(物語)—『新世紀エヴァンゲリオン』をめぐる— 一般発表19 張蓉蓓(輔仁大学・助理教授)：日本の漫画を中国語訳について
	17:20 - 18:00	総合座談会「文化／翻訳」(総合会場) 司会：横路啓子(輔仁大学) パネリスト：王志松(北京師範大学)、鄭炳浩(高麗大学)、日比嘉高(名古屋大学)		

【二日目】「次世代フォーラム」(大学院生研究発表会)

	時間	第一会場	第二会場
第一セッション	9:00- 10:30	司会：蔡嘉琪(輔仁大学) 発表1 藤田祐史(名古屋大学)：芭蕉とBasho：リービ英雄『千々にくだけて』論 発表2 葉可全(輔仁大学)：楊逵「新聞配達夫」試論 発表3 岡英里奈(名古屋大学)：旅する作家、旅する言葉—脱「文明批評」的藤村論のために—	司会：小針浩樹(輔仁大学) 発表1 金城恵(北海道大学)：張文環にととの「媳婦仔」—「芸姐の家」からの一考察— 発表2 金旭(高麗大学)：1930年代初期における京城帝国大学予科の文芸活動研究—雑誌『清涼』を中心に— 発表3 李嘉慧(高麗大学)：近代国家の他者としての在朝日本人遊女—1910年代『朝鮮及満州』、『朝鮮公論』における性病言説を中心に
第二セッション	10:30- 12:00	司会：黄瓊慧(輔仁大学) 発表4 李榮鎬(高麗大学)：朝鮮文学の会と在日朝鮮人文学 発表5 大場健司(九州大学)：越境する『砂の女』—安部公房とアメリカ文学の相互交通— 発表6 徐嘉乙(高麗大学)：「記憶の再生産」と「戦後責任」—『永遠のゼロ(永遠の0)』の「特攻隊」表象を中心に—	司会：許孟蓉(輔仁大学) 発表4 釋七月子(名古屋大学)：台湾日本語世代の自分史 発表5 曾家琦(輔仁大学)：宮崎駿アニメ論—現実世界とく異界>から—『千と千尋の神隠し』を中心に— 発表6 李冠儀(輔仁大学)：台湾人の立場から見る靖国神社—台湾団結連盟靖国神社参拝事件を中心に—
	12:00- 12:10	閉会式(総合会場) ご挨拶：黄瓊慧(輔仁大学日本語文学科学科長)	

(1) 使用言語：日本語

(2) 発表時間：1人30分(口頭発表20分、質疑応答10分)